

事務事業名	幡屋財産区管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	庶務グループ	課長名	佐々木吉広
施策名	(34)林業の振興	担当者名	山崎敬子	電話番号 (内線)	0854-43-8162
基本事業名	(102)適切な保育管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 3:0 0:5 0:5 0:5 0:1	幡屋財産区管理事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	幡屋財産区の維持管理のための事業。(財産区の運営は、昭和30年代に伐採期を迎えた立木を売却した利益を基本として積立て、毎年事業に必要な額を取崩して運営費としている)	大東町は、昭和26年の5町村合併の際に、各町村で財産区設置議決のあと、昭和30年に大東・春殖・幡屋・佐世・阿用財産区が設置された。昭和31年・32年にそれぞれ大東町に寄付され、平成18年度には阿用財産区が解散し雲南市へ譲渡され、現在は幡屋財産区のみで財産区管理会で管理している。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
○報酬・作業員賃金・費用弁償 354,200円 ○交際費・消耗品費・食料費 108,163円 ○事業委託費(事務・看守) 46,947円 ○基金利子積立金 9,957円 ○一般会計繰出金 9,000円 ○森林組合賦課金 25,500円	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円	542	409	554	1,013	
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	542	409	554	1,013	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人員	人	1	1	1	1	
予算編成・契約・支出票の記票	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	12	12	12	12	
	人件費計(B)	千円	44	46	47	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	586	455	601	1,013	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	①財産区管理会の開催②財産区所有林の草刈等の作業③財産区事務・財産区所有林看守事務委託	ア 管理会開催回数	回	1	1	1	1		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 作業実施回数	回	2	2	5	2		
	平成23年度と同様	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	財産区有林 財産区管理会委員	⑥ 対象指標							
	ア 財産区有林面積	ha	139	139	139	139			
	イ 幡屋地区の人口	人	1,770	1,709	1,691	1,650			
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	財産区有林の林木を適正に育て、山林荒廃を防ぎ将来の売却益の確保を図る	ア 順調に育っていない割合	%	60	60	60	60		
	イ								
	ウ								
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	適正に保全する	ア 健全な森林の割合	%	40	40	40	40		
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
近年、木材の価格が低迷していることや、松くい虫により被害、管理委員の高齢化により山林経営は厳しくなっている。	松くい虫防除事業の実施	樹種変換事業の実施

事務事業名	幡屋財産区管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 維持管理により森林の保全、水源涵養、災害防止等につながり、地球環境の保護のも結び付く。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 適正な維持管理により公共性が高いことから妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 財産区有林のため維持管理は、管理会が実施していることから妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 林木の保育管理を行い林業の振興を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 森林の荒廃が進み、結果として環境破壊につながる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 財産区有林のため、他の事業との統廃合は出来ない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 財産区の運営資金は、財産区基金を取崩し最低限必要な予算で事業を行っている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在は、市で財産区財政調整基金を管理しており削減できない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 管理委員は、幡屋地区から推薦されており公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	財産区有林の維持管理は、管理委員、地元住民により維持管理されているが、今後も市と歩調を合わせより一層森林保護、環境整備を図る必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
松以外の樹種変換により、安定的な保育が必要